

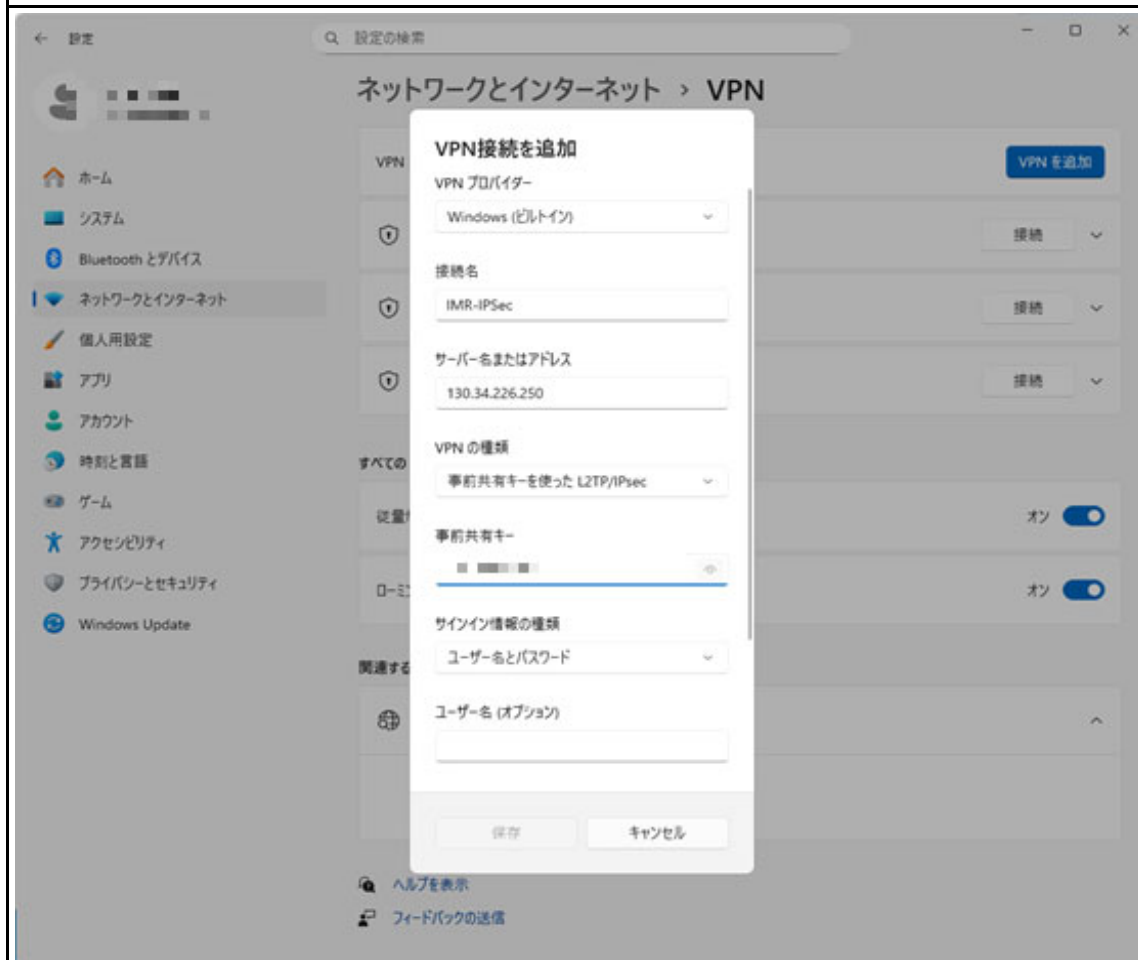


Windowsの設定アプリを開き

「ネットワークとインターネット」



「VPN設定を追加」より、設定を追加します



設定項目は

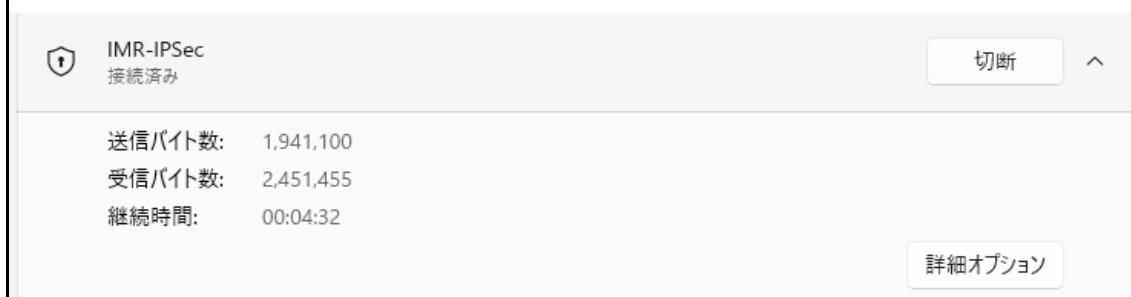
VPNプロバイダー： Windows(ビルトイン)  
接続名： 任意の名前で登録願います  
サーバ名またはアドレス： 130.34.226.250  
VPNの種類： 事前共有キーを使った L2TP/IPSec

事前共有キー： 「\*\*\*\*\*」

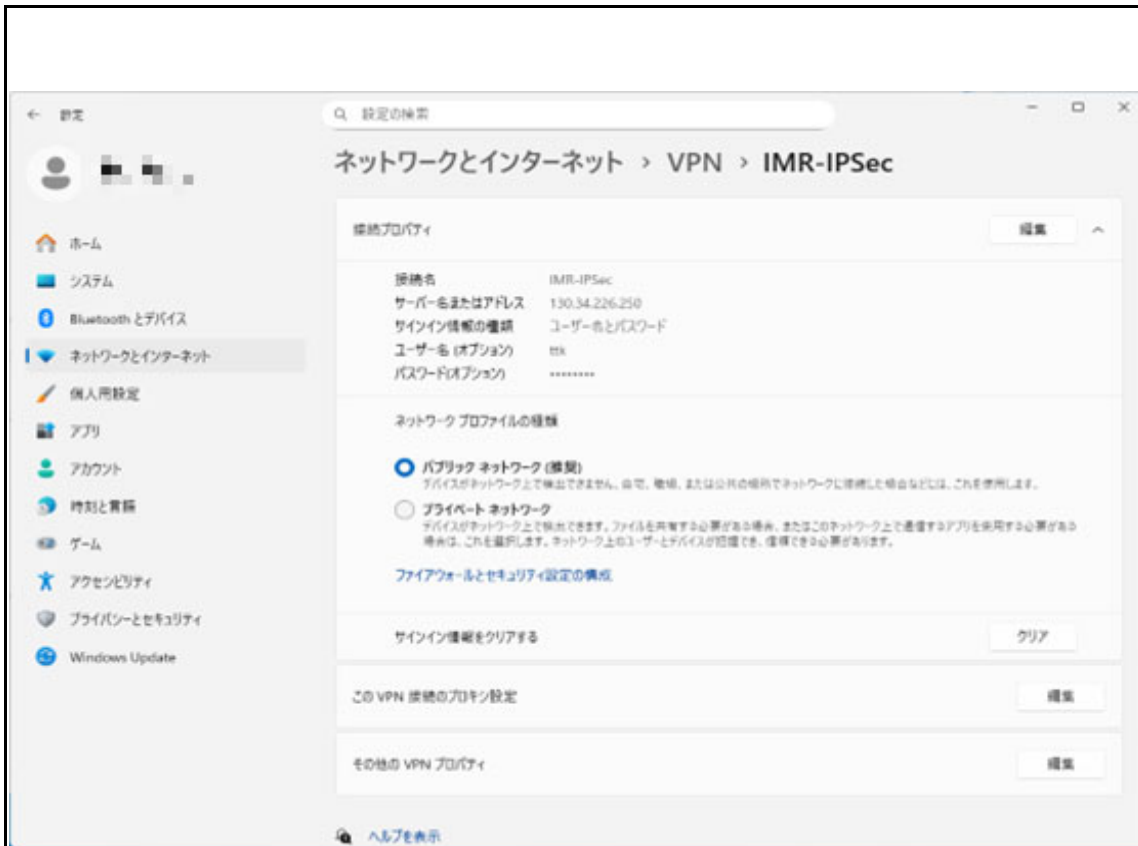
サインインの情報の種類： ユーザ名とパスワード  
サインイン情報を保存する： 任意で有効化

今まで使用していたユーザ名、パスワードで接続できます。

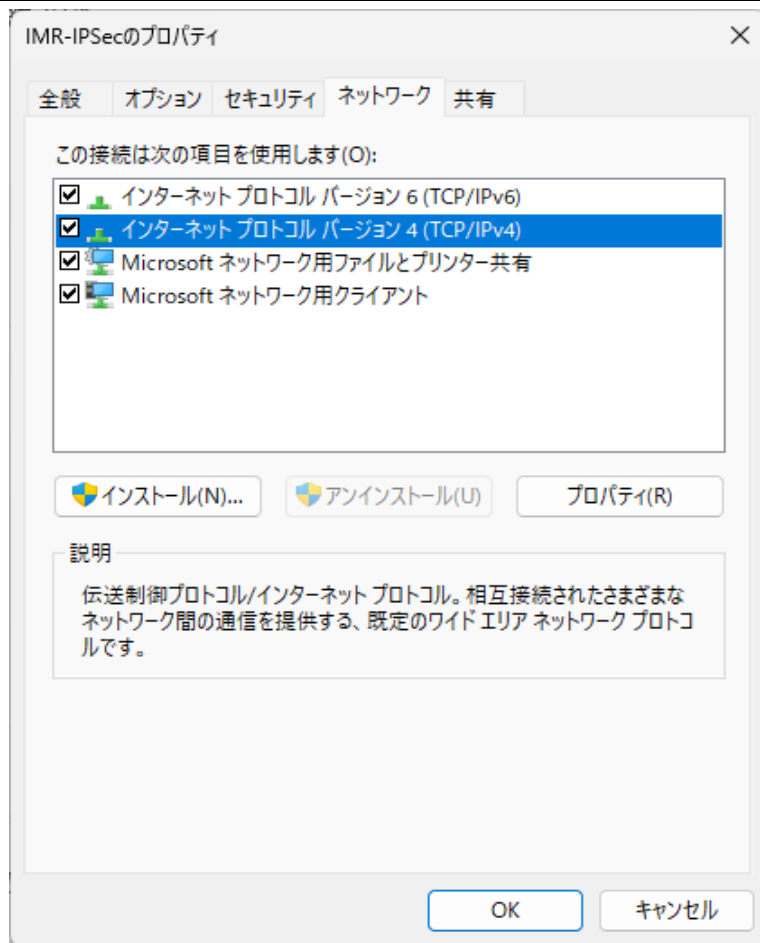
続けて、DNSの設定が必要です。



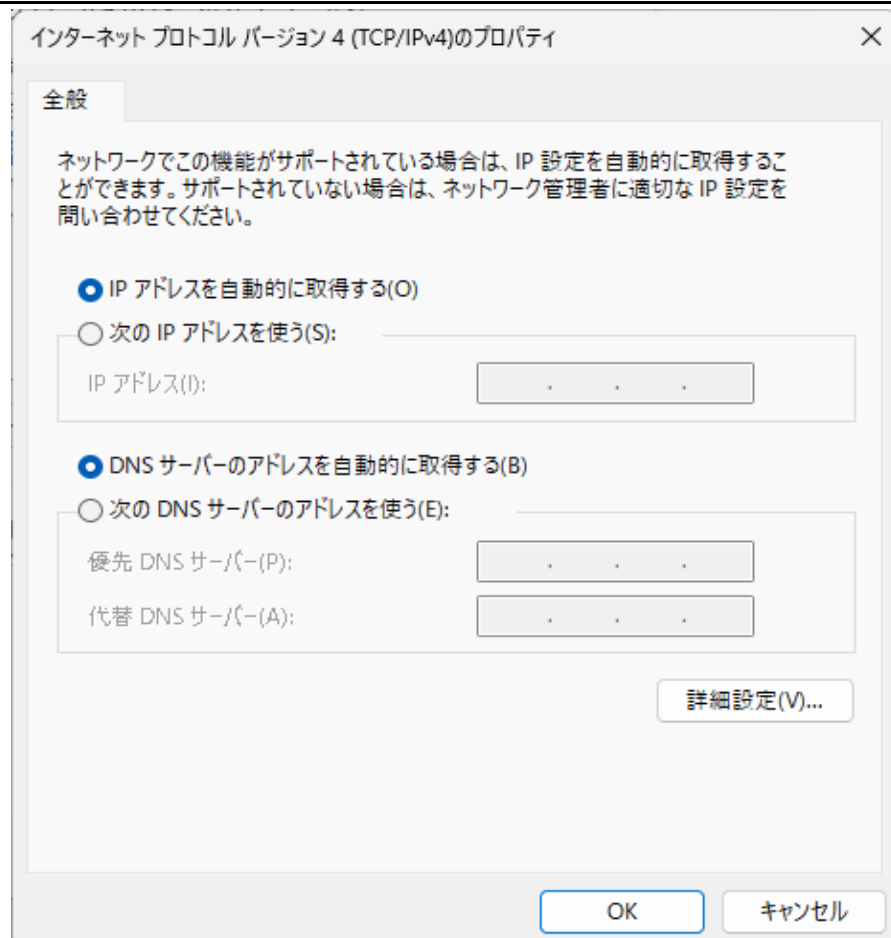
詳細オプションをクリックします



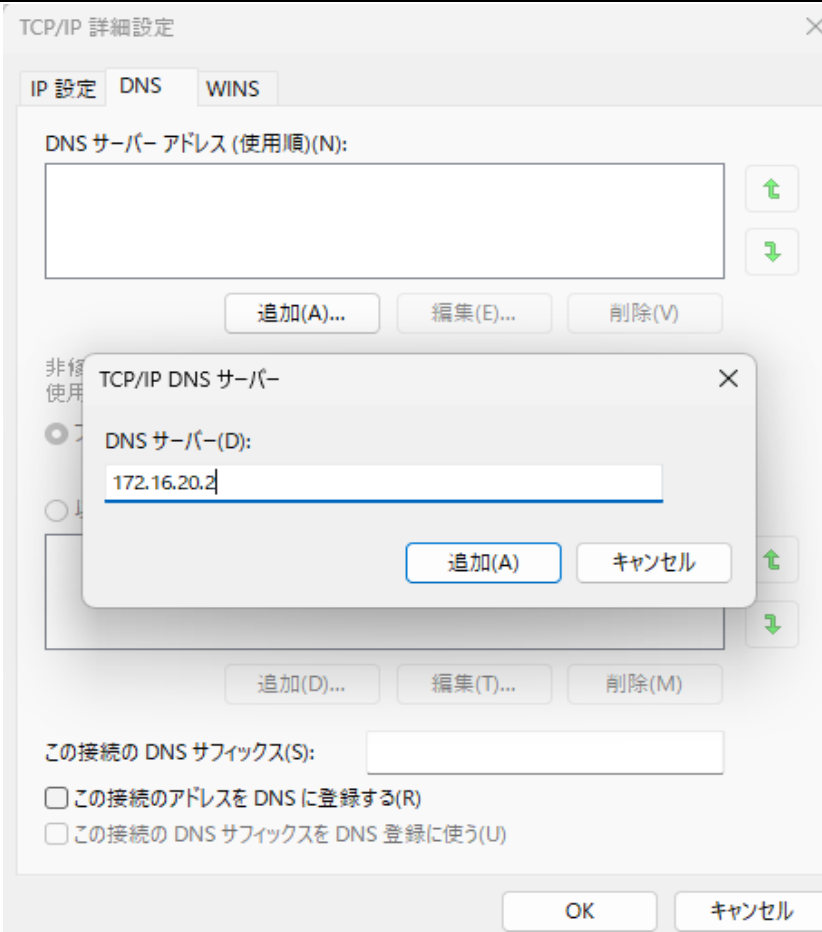
その他のVPNプロパティをクリックします



「ネットワーク」  
↓  
「インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPV4)」  
を選択し  
「プロパティ」  
をクリックします



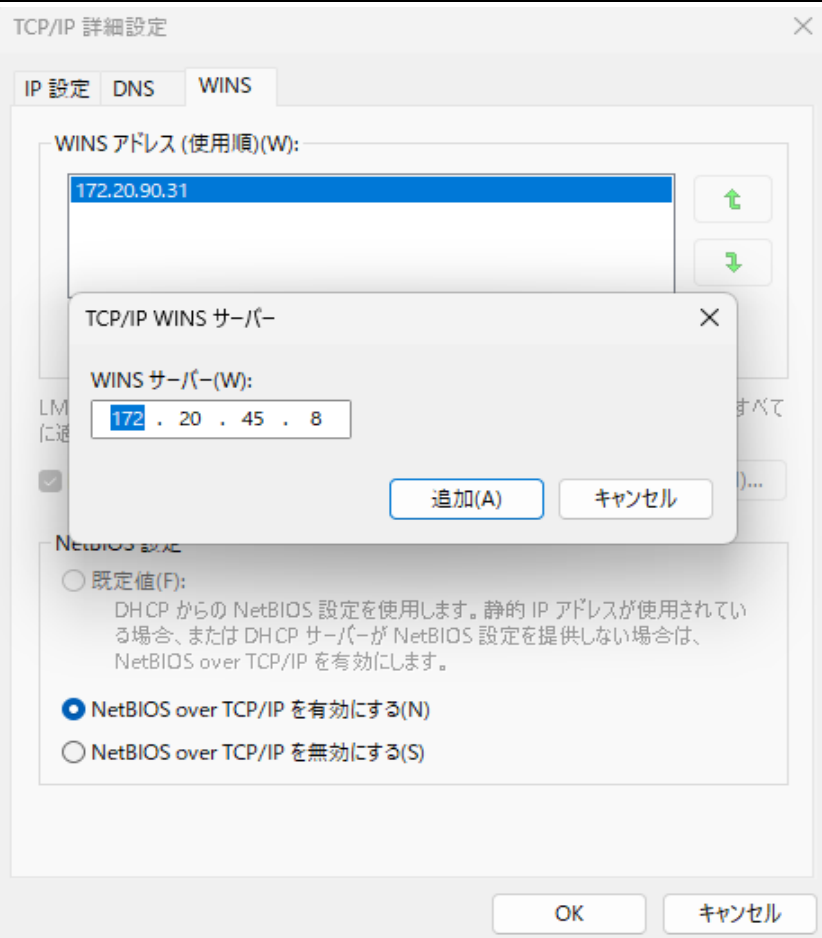
詳細設定をクリックします



「DNS」→「追加」をクリックし、  
下記のDNSサーバを登録します

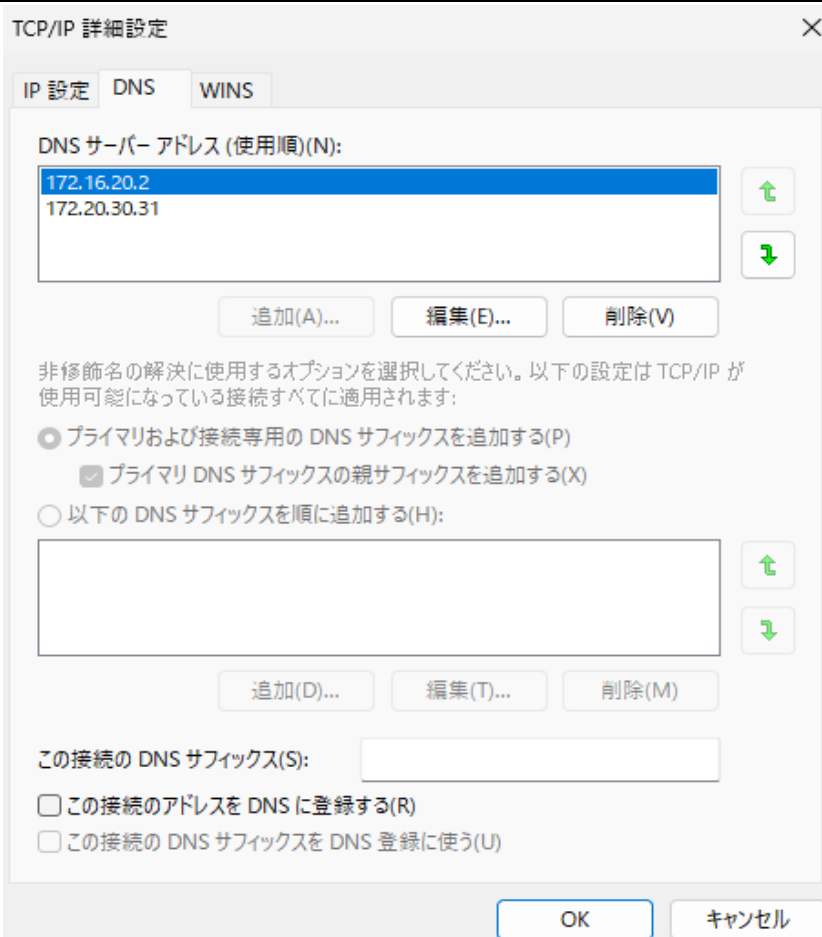
172.16.20.2  
172.20.90.31

※追加を押しDNSサーバアドレスが増えていることを  
確認します



同様にwinsの設定を行います

172.20.90.31  
172.20.45.8



画像のようになっていることを確認します

←図が間違えています

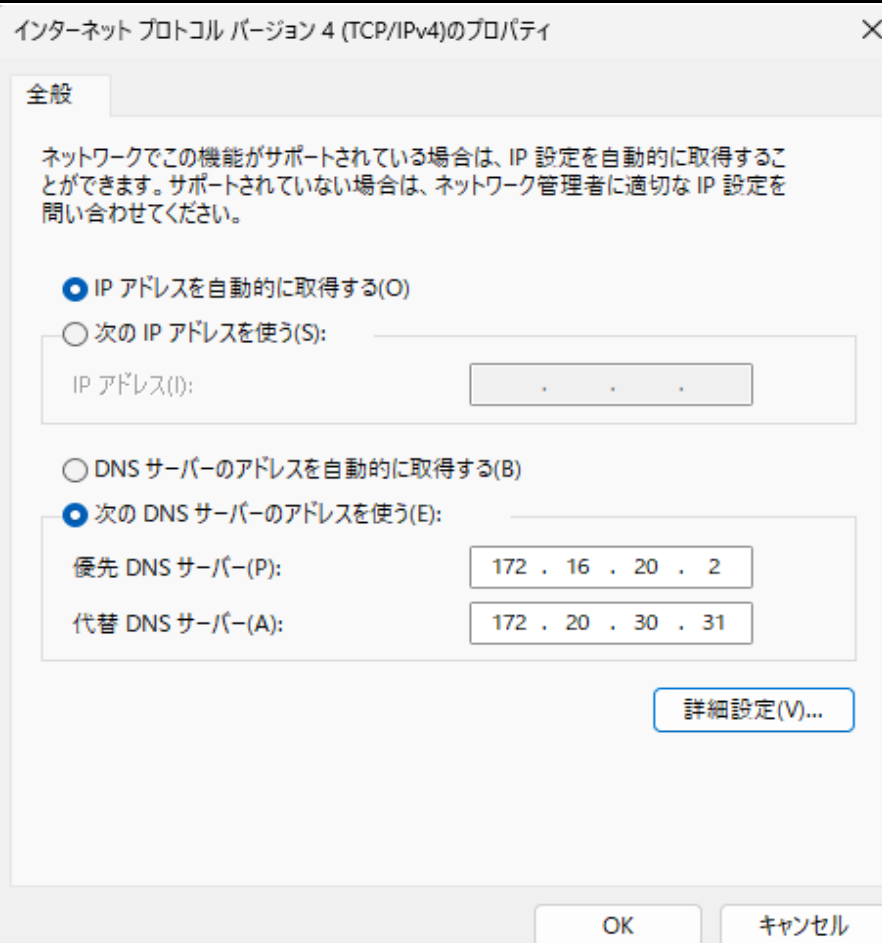
「172.20.90.31です」

※アドレスの上下がずれていたら、  
矢印ボタンで調整し、画像と同じになるようにしてください



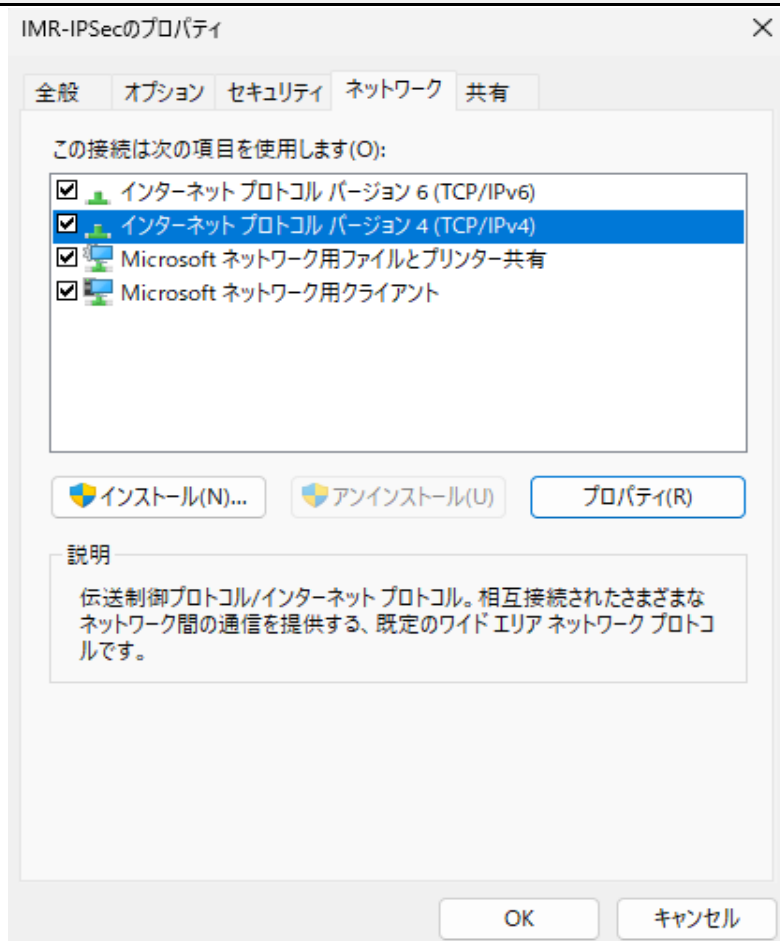
画像のようになっていることを確認し、OKをクリックします

※アドレスの上下がずれていたら、矢印ボタンで調整し、画像と同じになるようにしてください



設定が反映されていることを確認し、okをクリックします

←図が間違えています  
「172.20.90.31です」



okをクリックします

ネットワーク接続



この接続は現在アクティブなため、次回ダイヤルするまで設定は一部、有効になりません。

OK

このような表示が出た場合

OKを押し、VPNに接続しなおすことで設定が反映されます

設定は以上となります。お疲れ様でした。